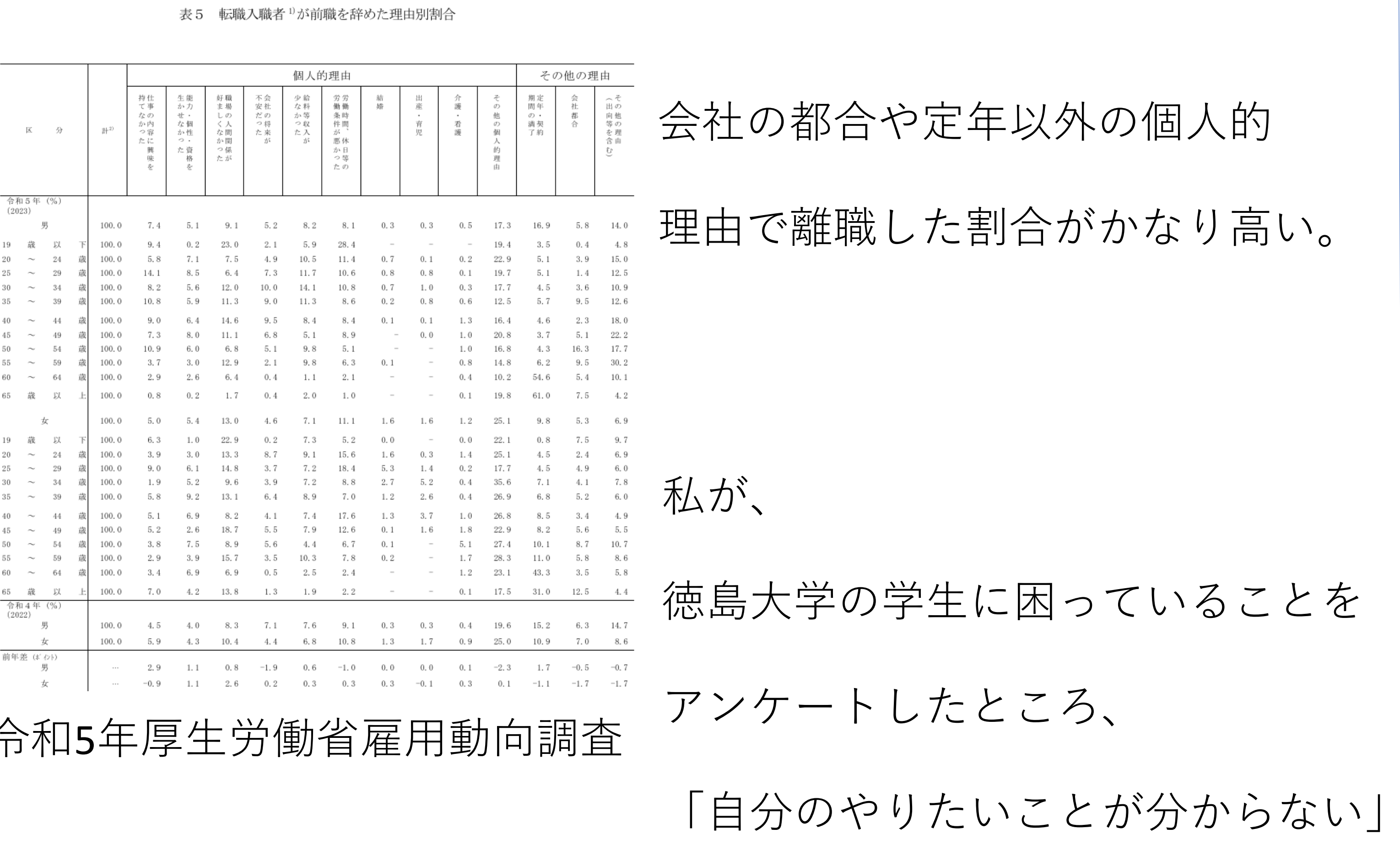


1.背景

大学の自身のキャリアについて考えたことや
大学生への調査を受け、自己分析の重要性を認識した。



大学生の自己分析が足りないのではない
か??

2. 調べたいこと

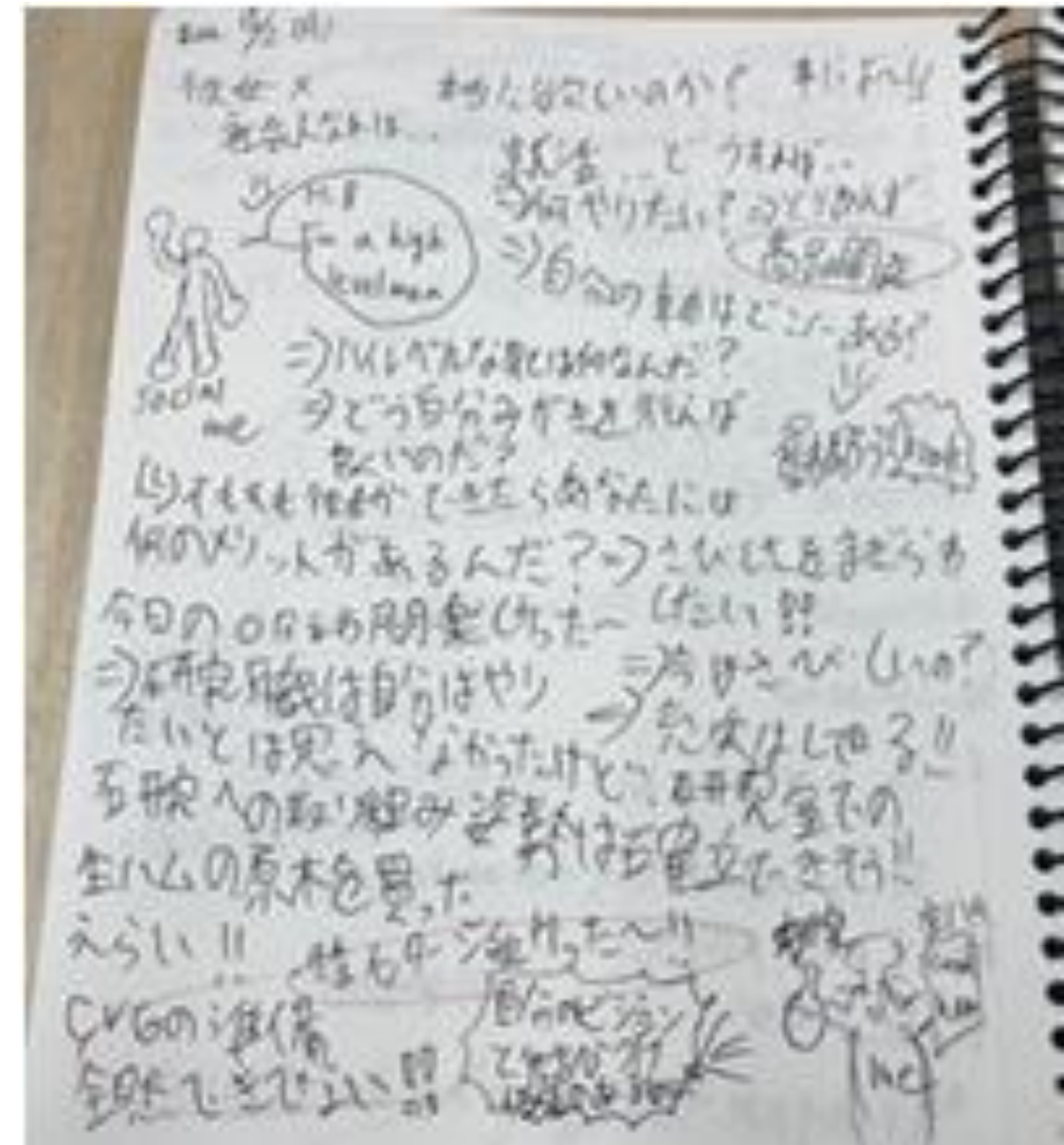
Brain VomitとAIを用いた自己分析ツール
「Vomit Box」は自己理解において、
有効であるかどうか

※現在は上記のことを調べるためにプロダクト作成中

これを調べる意義：
Vomit Boxをリリースする時のユーザーを集めやすくなる。
Brain Vomitの可能性を広げたり、日本に広めたりすることができる。

3.プロダクト概要

Brain Vomitとは・・・

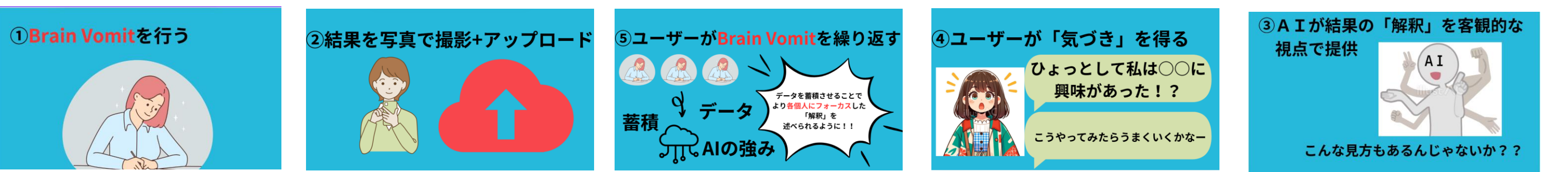


- ・非構造的に自由に制限なく行なう
- ・1で行なう
- ・感情も含めて、自分だけで吐き出す
ので、ストレス解消につながる
- ・包みかくすことのない非現実的な
意見が大量に発生する

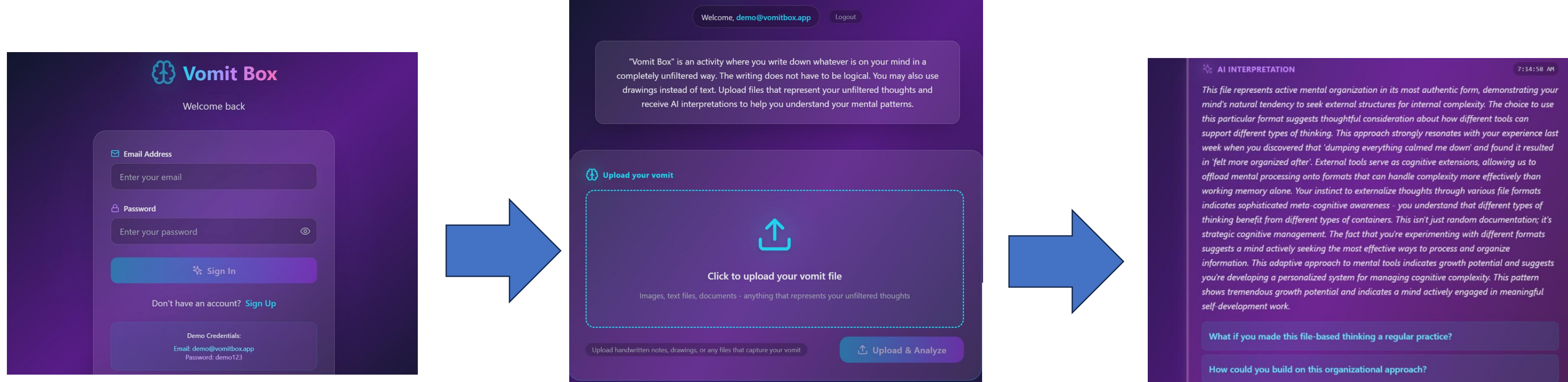
自分の考えや感情を吐き出し、自身の
潜在意識や価値観を探る手法

そこで、Brain Vomitを用いた新しい自己分析ツール
「Vomit Box」を作成している。。

<Vomit Boxの基本機能>



プロダクトイメージ



図解機能などの追加機能を検討中

4.調べる方法

自己理解の定義

「自己理解」を自分の価値観・強み・性格傾向・行動パターンを
理解している状態と定義する。

評価指標の設定

テストユーザー:30人以上の大学生 = 実験群30人
対照群30人

定量的な指標として、自己理解スコア（事前・事後の差）を
テストユーザーにつけてもらう。
1～5段階で評価を行なってもらう。

- | | |
|-----------------|---|
| 全く自己理解が進まなかった | 1 |
| ほとんど自己理科が進まなかった | 2 |
| どちらともいえない | 3 |
| 少し自己理解が進んだ | 4 |
| とても自己理解がすすんだ | 5 |

次に定性的な指標として、「自分の強みが言語化できた」
「自身の大切にしている価値観を理解できた」など
複数の内容に関しての自由記述を行なってもらう。

・1か月ごとに再調査を行ない効果が維持されているかの確認を行なう。

・ 外的要因の統制
このツール以外に結果（自己理解の変化）に影響を与える
可能性がある要素を排除する。

学習・教育的要因 キャリア教育の授業、自己分析セミナー等

人間関係・社会的要因 進路相談

心理的要因 ストレス、不安

5.今後の展望

11月の学祭にて、テストユーザーを以上の外的要因に注意しながら、
テストユーザーを集めて、検証を行なっていく。

そして、Vomit Boxの改善やBrain Vomitの可能性を
広げること貢献したい。

<引用先>

令和5年厚生労働省雇用動向調査

gaikyou.pdf